

平成 年 月 日

三重県知事 野呂 昭彦 様

(申請者)住 所  
団体名  
代表者の職・氏名 (印)

平成22年度NPO(ボランティア団体・市民活動団体等)からの協働事業提案書  
このことについて、下記のとおり提案します。

記

- 1 募集区分 自由提案・県テーマ( )に対する提案  
(該当する方に を付けてください)
- 2 協働事業提案の名称(概ね30字以内)
- 3 協働事業提案の概要(200字程度) 内容は別紙「協働事業提案企画書」のとおり  
事業概要は県民に公表する際に使用します。事業の内容をわかりやすく記載してください。
- 4 団体について

団 体 の 名 称					
代表者の職・氏名					
団 体 の 住 所	〒				
T E L			F A X		
E-mail					
設立年月	年 月	構 成 員	人	担当者氏名	
担当者連絡先(上記の団体連絡先と異なる場合、下記にご記入ください)					
T E L			F A X		
E-mail					

- (添付書類) 1. 団体の目的を記載したもの(設立趣旨書、定款、会則等)  
2. 団体の平成22年度年間活動計画書及び平成22年度年間収支予算書  
3. 団体の活動経歴

(定期刊行物、新聞切り抜きなどがあれば別途添付してください。)

## 協働事業提案企画書

(記載が複数ページにまたがっても差し支えありませんので、できるだけわかりやすく具体的に記載してください。)

協働事業の名称	協働事業提案の目的や内容が的確に理解できる名称をつけてください。 (概ね30字以内) 思いは～サブタイトル～に。
提案の目的	貴団体がこの協働事業を提案する目的、協働事業と貴団体のミッションとの関連を記載してください。 (ここでは主に「目的の妥当性」について判断します。)
提案の背景	どのような活動の中から、この提案をしようと思ったのか、貴団体がこの協働事業を提案することに至った理由や背景を具体的に記載してください。 (ここでは主に「目的の妥当性、緊急性・重要性、先駆性・先見性」について判断します。)
協働事業の内容	現時点で考えている協働事業提案の内容について、「誰が」「誰と」「誰(何)を対象に」「いつ」「どのようにして」「何をする」のか、また、貴団体と県との役割分担や、関係団体や専門家の協力を求めることが可能か等、実施体制についても具体的に記載してください。 (ここでは主に「協働の必要性・役割分担、先駆性・先見性、具体性、実現性」について判断します。)
協働の効果	県との協働によってどのような効果が期待できるか、地域社会への影響や効果について記載してください。 (ここでは主に「協働の必要性・効果」について判断します。)
総事業費	現時点で提案事業にかかる見込まれる総費用について積算をしてください。積算は、企画料や間接費など、提案の事業を実施していく上で必要となるすべての項目について計上してください。そのうえで、NPOが負担すべき部分と県が負担すべき部分を明記し、どのように予算を確保していくのかについても記載してください。 (ここでは主に「具体性、予算計画の妥当性」について判断します。)
当該協働事業の参考となる事例	既実現されている参考となるような諸外国や他の自治体等の先進的な取組事例、類似事例がありましたら記載してください。 (ここでは主に「協働の必要性、具体性」について判断します。)
その他	上記以外にこの提案に関して補足したいことがあれば書いてください。

企画書の各項目の( )には、関連する審査の視点について、記載しています。